

**会計室**

# 組織力の発揮

# 会計室

## 組織の目的（どのような価値を提供するのか）

市の施策の財源である公金の安全確実かつ有利な管理を行うとともに、会計事務（審査・出納）の適正な執行と効率化に努める。

## 価値を提供する上で、解決すべき課題

各担当課で財務会計事務を適正かつ効率的に行えるように、財務会計システムの「操作マニュアル」の整備、また、地方公会計整備に併せて「会計事務規則及びマニュアル」を整備する。

## 組織として持っている主な資源

人・ネットワーク	技術・知識	情報	もの	計画
金融機関	財務会計システム 及びイージーバンクの利 用	金融機関の情報 債権者登録の情報	財務会計システム イージーバンク	会計事務規則 及びマニユ アルの整備

## 資源を踏まえ行動指針から課題と考えること、その解決策

行動指針	課題	解決策
多様性ある		
顔が見える (関係づくり)		
協働する (それぞれが できること、 役割分担)		
挑戦する あきらめない	財務会計システムの操作マニュアル	財務会計システムの「操作マニュアル」の整備
創造する 新たな工夫	会計事務規則及びマニュアルの整備	地方公会計整備に併せて「会計事務規則 及びマニュアル」を整備する。
持続する		

## 課の資源を有効に活用するための取組現状と 28 年度目標

項目	目標	実施状況
1 情報の共有化や合議制など、課内会議の実施状況	目標:A (現状:A)	A:年 20 回以上 B:年 10 回以上 C:年 5 回以上 D:年 4 回以下
2 整理・整頓の徹底 (課及び職員個々の状況)	目標:A (現状:A)	A:整理されている B:概ね整理されている C:半分程度が整理している D:整理されていない
3 課内で報告・連絡・相談の徹底	目標:A (現状:A)	A:全員が徹底している B:概ね徹底している C:半数程度が徹底している D:一部のみ
4 庁内の他部署との連携や協力体制	目標:B (現状:B)	A:十分に連携できている B:概ね連携できている C:一部で連携 D:連携が足りない
5 通常業務のマニュアル化	目標:B (現状:C)	A:マニュアル化完了 B:概ねマニュアル化完了 C:一部マニュアル化 D:マニュアル化未完了

施策名		会計事務						
部課等名		会計室						
“かたのサイ ズ”をめざす像 (主要2つ)		市民も事業者も楽しく汗をかいている。 公共の施設の窓口が便利でわかりやすく親切である						
施策の目的		市の施策の財源である公金の安全かつ有利な管理を行うとともに、会計事務(審査・出納)の適正な執行と効率化に努める。						
根拠法令		地方自治法						
関連条例		交野市財務規則						
関連計画								
要綱等								
業務マニュアル								
ネットワーク		河北会計事務連絡会						
施策の 目標	28年度	会計事務(審査・出納)の適正な執行と効率化						
	27年度	会計事務(審査・出納)の適正な執行と効率化						
行政内 の目標	28年度	財務会計システムの「操作マニュアル」及び地方公会計整備に併せた「会計事務規則及びマニュアル」の整備						
	27年度	地方公会計整備に係る適正、円滑な移行作業の実施						
財源見込み		国の負担 ( 0 千円) 大阪府の負担( 0 千円)						
事業名	事業概要	実施 形態	位置 付け	評価 H26 H25	アウト ット 指 標	H28 目標 H27 見込 H26 実績	H28 予算額 H27 予算額 H26 決算額	
1 会計事務	出納、審査、監査、決算 事務を円滑に行う	直	法定	A A	支出命令書処 理件数	— — 34,175	42,763 千円 44,928 千円 34,169 千円	

